

鳥獣捕獲申請について

(申請にあたって必ずお読みください)

「有害鳥獣駆除」は、野生の鳥獣が生活環境や農産物などに被害を与え、捕獲する以外に被害を防止できないときに、原則として禁止されている野生鳥獣の捕獲等を、例外として許可を受けて行うことができる制度です。

限定された21種の野生鳥獣が捕獲申請の対象となりますが、特定外来生物に指定されているアライグマ、ヌートリアについては本市の定める「防除実施計画」に基づき防除を行いますので、別の取り扱いになります。

許可を受けて捕獲等を実施される方は、許可証記載事項を遵守するとともに、動物愛護法などにも留意し、捕獲実施から処置まで、自らの責任で行っていただきます。

捕獲等の許可申請には、実際被害に遭われている方(依頼主)からの※「有害鳥獣捕獲等要望書」も必要です。(申請者＝依頼主の場合も提出していただきます)

以下は、許可申請書(様式第2号)記入上の留意点です。

1 申請者

捕獲等を実際に行う人の自宅住所・電話番号・氏名・職業・生年月日を記入してください。複数で捕獲を行う場合は、所定の様式(様式第2号 別紙1)により申請者名簿を作成してください。許可を受けた方以外の人に委託・代行させることはできません。

2 捕獲等しようとする鳥獣又は採取等しようとする鳥類の卵の種類及び数量

捕獲しようとする鳥獣の数は、被害を防止するための必要最小限の頭(羽)数としてください。

3 捕獲等又は採取等の目的

捕獲等を行う理由(〇〇被害の防止等)を記入してください。

4 捕獲等又は採取等の期間

捕獲等を実施したい期間(原則最長3ヶ月間)を記入してください。

なお、許可証発行の事務手続きには1週間程度が必要です。余裕をみてください。

5 捕獲等又は採取等の区域

捕獲等を実施する場所の所在地を記入してください。

複数ある場合は1箇所記入し、その他〇〇箇所と記載してください。

6 捕獲等又は採取等の方法(銃器を使用しない方法)

箱ワナ、手取り等捕獲の方法を記入してください。

狩猟免許の対象になる猟具を使用するときは狩猟免許が必要になることがあります。

なお、尼崎市内は全域銃猟禁止区域です。

7 捕獲等又は採取等をした後の処置

埋却、焼却等、捕獲した鳥獣が被害発生を繰り返さない処置方法を記入してください。

8 「学術研究を目的とした場合にあっては研究の事項及び方法」から「備考」欄については、該当が無ければ空欄のままで結構です。

9 鳥獣保護区等において、捕獲等又は採取等しようとする場合にあってはその旨「伊丹・尼崎特定猟具使用禁止区域（銃器）」と記載して下さい。

※「有害鳥獣捕獲等要望書」

鳥獣捕獲許可は、被害が発生している地域の代表者（自治会長、農会長、施設管理者等）が市町長に「有害鳥獣の捕獲を要望」し、市町長が必要に応じて現地調査を実施した上で、被害が発生している地域の代表者が捕獲班の代表者（班長）に有害鳥獣の捕獲を依頼し、依頼を受けた班長が、「捕獲許可申請書」により市町長に申請するという流れです。

よって、捕獲許可申請の際には、必ず「有害鳥獣捕獲等要望書」も提出してください。

※ 許可申請者名簿の「保険等」欄について

損害賠償責任保険に入っている場合は、保険証の写しを名簿に添付して提出して下さい。

以 上

（問い合わせ先）

尼崎市経済環境局 環境部 業務課

TEL (06) 6374-9999

FAX (06) 6409-1193

令和 年 月 日

尼 崎 市 長 様

住 所

氏 名

有 害 鳥 獣 捕 獲 等 要 望 書

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第9条の規定による有害鳥獣捕獲又は鳥類の卵の採取を行いたいので、捕獲又は採取（予定）実施者に対し許可して下さるよう要望いたします。

記

- 1 被害状況

- 2 捕獲又は採取（予定）実施者

- 3 捕獲しようとする鳥獣名又は採取しようとする鳥類の卵の種類及び数量

- 4 捕獲又は採取しようとする区域

- 5 捕獲又は採取しようとする期間

- 6 捕獲又は採取しようとする方法

- 7 その他（費用負担等）

以 上

記入例

令和 年 月 日

尼 崎 市 長 様

捕獲を依頼する人が記入
してください。
通常は被害場所（捕獲場
所）の管理者や代表者名
になります。

住 所

尼崎市東七松町 1 - 2 3 - 1

氏 名

立花 一郎

有 害 鳥 獣 捕 獲 等 要 望 書

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第9条の規定による有害鳥獣捕獲又は鳥類の卵の採取を行いたいので、捕獲又は採取（予定）実施者に対し許可くださるよう要望いたします。

記

1 被害状況

糞による被害、周囲への威嚇

捕獲をする人（被依頼者）
会社組織として請け負う場
合は会社名と代表者名を記
入してください

2 捕獲又は採取（予定）実施者

尼崎 太郎

ほか〇名

実施者以外で何人が従事するかを記入

3 捕獲しようとする鳥獣名又は採取しようとする鳥類の卵の種類及び数量

カラス 10羽

4 捕獲又は採取しようとする区域

尼崎市〇〇町〇〇

原則、許可日数は
許可日から起算
します。

5 捕獲又は採取しようとする期間

許可日から〇ヶ月 又は 許可日～令和〇年〇月〇日 （最大3か月）

6 捕獲又は採取しようとする方法

網

7 その他（費用負担等）

以 上

(様式第 2 号)

令和 年 月 日

尼崎市長 様

住 所 (備考)2参照	(〒) 電話番号 ()
氏 名 (備考)3参照	
職 業	
生年月日	年 月 日生

鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可申請書

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第 9 条第 2 項の規定（並びに同法第 9 条第 8 項及び同法施行規則第 7 条第 7 項）※により、鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可を受けたいので、以下により申請します。

捕獲等をしようとする鳥獣又は採取等をしようとする鳥類の卵の種類及び数量	(備考)4参照
捕獲等又は採取等の目的	(備考)5参照
捕獲等又は採取等の期間	
捕獲等又は採取等の区域	(備考)6参照
捕獲等又は採取等の方法	(備考)7参照
捕獲等又は採取等をした後の処置	(備考)8参照
学術研究を目的とした場合にあっては 研 究 の 事 項 及 び 方 法	(備考)9参照
鳥獣保護区等において、捕獲等又は 採取等しようとする場合にあってはその旨	(備考)10参照
狩猟免許を受けている場合は当該 免許の種類、免許を与えた知事名 狩猟免状の番号及び交付年月日	(備考)11参照
銃器を使用する場合は、銃砲所持 許可番号、許可年月日及び銃砲の種類	(備考)12参照
備 考	(備考)15参照

- ＜添付資料＞ 1 縮尺 5 万分の 1 以上の地形図（捕獲の場所を明らかにしたもの）
2 使用する捕獲用具に係るその構造、設置方法等を示す図面
3 複数人が同一の目的で捕獲に携わる場合で捕獲区域や方法も同一の場合、
「鳥獣の捕獲等及び鳥獣の卵の採取等の許可申請者名簿（別紙 1）」
4 捕獲等が研究者等からの依頼による場合は、「鳥獣捕獲依頼書（別紙 2）」

※ 法人申請で、従事者証の交付申請も同時に行う場合は（ ）を外し、それ以外の場合は（ ）内の文字を抹消すること。

(様式第2号) 裏面

- (備考) 1. 法人申請（当該申請において、法人申請を行うことができるものは、法第9条第8項に規定する法人（国、地方公共団体その他環境省令で定める法人）に限るものとし、従事者証を交付する場合。以下同じ。）で、従事者証の交付申請も同時に行う場合にあつては、（ ）を外し、従事者証の交付申請を同時に行わない場合若しくは個人申請の場合は（ ）内の文字を抹消すること。
2. 住所欄には、法人申請（従事者証を交付する場合）の場合以外は、所属機関の所在地ではなく、申請者本人の自宅の住所を記載すること。
3. 氏名欄には、複数人が同一の目的で捕獲に携わる場合で捕獲区域や方法も同一の場合には、氏名欄の下に「ほか○名」と人数を記入し、代表者（班長とすること）を含み「鳥獣の捕獲等及び鳥獣の卵の採取等の許可申請者名簿（別紙1）」に必要事項を記載の上、添付すること。
法人申請の場合は、その法人の長の名前を記入し、従事者は従事者名簿（鳥獣の捕獲等及び鳥獣の卵の採取等の許可申請者名簿（別紙1））に必要事項を記載の上添付すること。
4. 捕獲の頭（羽・個）数は、各人別に割り振られた頭（羽・個）数を記載すること。また、1頭を共同で捕獲するような場合においては、合計○人で1頭というように記載すること。
5. 目的欄には「学術研究（生態調査）」「有害鳥獣捕獲（農林水産業被害防止）」等、捕獲等をする事由を記載すること。
6. 区域欄には、都道府県、市郡、町村、大字、小字、地番（地先）等を記入し、捕獲の場所を明らかにした縮尺1:50,000以上の地形図を添付すること。
7. 方法欄には、使用する捕獲用具の名称を記入し、その構造、設置方法等を示す図面を添付すること。なお、麻酔銃を使用する場合は、使用薬名及び施用量を添付資料として記載すること。
8. 処置欄については、捕獲個体の捕獲後の処置の方法について、「計測後放鳥」、「飼養」、「飼養又は処分」、「譲渡はしない」、「標本は○頭以内」、「埋設処分」、「焼却処分」、「自家消費」等と記入すること。
9. 研究の事項及び方法欄には、学術研究を目的として捕獲等又は採取等をしようとする場合にあつては、研究の事項及び方法について、詳細に記入すること。
10. 飼養している鳥獣の種類及び数量等欄には、愛がん飼養を目的として鳥獣の捕獲又は鳥類の卵の採取をしようとする場合にあつては、申請者の属する世帯において現に飼養している鳥獣の種類及び数量を記入すること。
また、申請者が申請日以前5年の間に愛がんのための飼養を目的として法第9条第1項の許可を受けたことがあるときは当該許可に係る鳥獣の種類及び数量を記載すること。
11. 鳥獣保護区等の記入欄には、鳥獣保護区、休猟区、公道、自然公園法第14条第1項の特別保護地区、都市計画法第4条第6項の都市計画施設である公共空地その他公衆慰楽の目的で設けられた園地であつて囲い又は標識によりその区域を明示したもの、自然環境保全法第14条第1項の原生自然環境保全地域、社寺境内、墓地、銃猟禁止区域、銃猟制限地域又は猟区内において捕獲等又は採取等をしようとする場合にあつては、その旨を記載すること。
12. 狩猟免許に関する記入欄には、申請者（法人にあつては捕獲等に従事する者）が狩猟免許を現に受けている場合にあつては、当該狩猟免許の種類、当該狩猟免許を与えた都道府県知事名並びに当該狩猟免許に係る狩猟免許の番号及び交付年月日を記載すること。
13. 銃砲所持許可証番号及び交付年月日の記入欄には、銃器を使用して捕獲等をしようとする場合にあつては、当該銃器の所持について申請者（法人にあつては、捕獲等に従事する者）が現に受けている銃砲刀剣類所持等取締法第4条第1項第1号の規定に係る許可証番号及び交付年月日を記載すること。
14. 捕獲等が研究者等からの依頼による場合は、鳥獣捕獲依頼書（別紙2）を添付すること。
15. 用紙のサイズは日本工業規格A4版とすること。
16. 「備考」欄には、他の法令の規定により行政庁の許可、認可その他の処分又は届出を必要とするものについて、その法令名、適用条項及びその手続状況を記載すること。

(様式第2号)

記入例

令和 年 月 日

尼崎市長 様

実際に捕獲を行う方の住所、氏名を記入してください。

(会社組織として捕獲を行う場合は、会社等の住所、会社名、代表者名を記入してください)

住 所 (備考)2参照	(〒) 尼崎市東七松町 1 - 2 3 - 1 電話番号 (〇〇〇〇—〇〇〇〇)
氏 名 (備考)3参照	尼 崎 太 郎
職 業	会社員
生年月日	昭和〇〇年 〇月 〇〇日生

鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可申請書

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第9条第2項の規定（並びに同法第9条第8項及び同法施行規則第7条第7項）※により、鳥獣の捕獲等及び鳥類の卵の採取等の許可を受けたいので、以下により申請します。

捕獲等しようとする鳥獣又は採取等しようとする鳥類の卵の種類及び数量	カラス 10羽 (備考)4参照
捕獲等又は採取等の目的	有害鳥獣捕獲 (備考)5参照
捕獲等又は採取等の期間	令和〇〇年〇月〇日～令和〇〇年〇月〇日
捕獲等又は採取等の区域	尼崎市〇〇町〇〇 (備考)6参照
捕獲等又は採取等の方法	網 その他手取り、箱ワナ (備考)7参照
捕獲等又は採取等をした後の処置	焼却 その他埋却など (備考)8参照
学術研究を目的とした場合にあっては研究の事項及び方法	(備考)9参照
愛がん飼養の場合、現に飼養している鳥獣の種類及び数量等	(備考)10参照
鳥獣保護区等において、捕獲等又は採取等しようとする場合にあってはその旨	〇ヶ月 又は 許可日～令和〇年〇月〇日という記載も可能です。
狩猟免許を受けている場合は当該免許の種類、免許を与えた知事名、狩猟免許の番号及び交付年月日	原則、許可日数は許可日から起算します。
銃器を使用する場合は、銃砲所持許可番号、許可年月日及び銃砲の種類	期間は最大3ヶ月です。
備考	(備考)12参照 (備考)15参照

- <添付資料> 1 縮尺5万分の1以上の地形図（捕獲の場所を明らかにしたもの）
2 使用する捕獲用具に係るその構造、設置方法等を示す図面
3 複数人が同一の目的で捕獲に携わる場合で捕獲区域や方法も同一の場合、「鳥獣の捕獲等及び鳥獣の卵の採取等の許可申請者名簿（別紙1）」
4 捕獲等が研究者等からの依頼による場合は、「鳥獣捕獲依頼書（別紙2）」

※法人申請で、従事者証の交付申請も同時に行う場合は（ ）を外し、それ以外の場合は（ ）内の文字を抹消すること。

(様式第2号) 裏面

- (備考) 1. 法人申請（当該申請において、法人申請を行うことができるものは、法第9条第8号に規定する法人（国、地方公共団体その他環境省令で定める法人）に限るものとし、従事者証を交付する場合。以下同じ。）で、従事者証の交付申請も同時に行う場合にあつては、（ ）を外し、従事者証の交付申請を同時に行わない場合若しくは個人申請の場合は（ ）内の文字を抹消すること。
2. 住所欄には、法人申請（従事者証を交付する場合）の場合以外は、所属機関の所在地ではなく、申請者本人の自宅の住所を記載すること。
3. 氏名欄には、複数人が同一の目的で捕獲に携わる場合で捕獲区域や方法も同一の場合には、氏名欄の下に「ほか○名」と人数を記入し、代表者（班長とすること）を含み「鳥獣の捕獲等及び鳥獣の卵の採取等の許可申請者名簿（別紙1）」に必要事項を記載の上、添付すること。
法人申請の場合は、その法人の長の名前を記入し、従事者は従事者名簿（鳥獣の捕獲等及び鳥獣の卵の採取等の許可申請者名簿（別紙1））に必要事項を記載の上添付すること。
4. 捕獲の頭（羽・個）数は、各人別に割り振られた頭（羽・個）数を記載すること。また、1頭を共同で捕獲するような場合においては、合計○人で1頭というように記載すること。
5. 目的欄には「学術研究（生態調査）」「有害鳥獣捕獲（農林水産業被害防止）」等、捕獲等をする事由を記載すること。
6. 区域欄には、都道府県、市郡、町村、大字、小字、地番（地先）等を記入し、捕獲の場所を明らかにした縮尺1:50,000以上の地形図を添付すること。
7. 方法欄には、使用する捕獲用具の名称を記入し、その構造、設置方法等を示す図面を添付すること。なお、麻酔銃を使用する場合は、使用薬名及び施用量を添付資料として記載すること。
8. 処置欄については、捕獲個体の捕獲後の処置の方法について、「計測後放鳥」、「飼養」、「飼養又は処分」、「譲渡はしない」、「標本は○頭以内」、「埋設処分」、「焼却処分」、「自家消費」等と記入すること。
9. 研究の事項及び方法欄には、学術研究を目的として捕獲等又は採取等をしようとする場合にあつては、研究の事項及び方法について、詳細に記入すること。
10. 飼養している鳥獣の種類及び数量等欄には、愛がん飼養を目的として鳥獣の捕獲又は鳥類の卵の採取をしようとする場合にあつては、申請者の属する世帯において現に飼養している鳥獣の種類及び数量を記入すること。
また、申請者が申請日以前5年の間に愛がんのための飼養を目的として法第9条第1項の許可を受けたことがあるときは当該許可に係る鳥獣の種類及び数量を記載すること。
11. 鳥獣保護区等の記入欄には、鳥獣保護区、休猟区、公道、自然公園法第14条第1項の特別保護地区、都市計画法第4条第6項の都市計画施設である公共空地その他公衆慰楽の目的で設けられた園地であつて囲い又は標識によりその区域を明示したもの、自然環境保全法第14条第1項の原生自然環境保全地域、社寺境内、墓地、銃猟禁止区域、銃猟制限地域又は猟区内において捕獲等又は採取等をしようとする場合にあつては、その旨を記載すること。
12. 狩猟免許に関する記入欄には、申請者（法人にあつては捕獲等に従事する者）が狩猟免許を現に受けている場合にあつては、当該狩猟免許の種類、当該狩猟免許を与えた都道府県知事名並びに当該狩猟免許に係る狩猟免許の番号及び交付年月日を記載すること。
13. 銃砲所持許可証番号及び交付年月日の記入欄には、銃器を使用して捕獲等をしようとする場合にあつては、当該銃器の所持について申請者（法人にあつては、捕獲等に従事する者）が現に受けている銃砲刀剣類所持等取締法第4条第1項第1号の規定に係る許可証番号及び交付年月日を記載すること。
14. 捕獲等が研究者等からの依頼による場合は、鳥獣捕獲依頼書（別紙2）を添付すること。
15. 用紙のサイズは日本工業規格A4版とすること。
16. 「備考」欄には、他の法令の規定により行政庁の許可、認可その他の処分又は届出を必要とするものについて、その法令名、適用条項及びその手続状況を記載すること。

(様式第2号 別紙1)

鳥 獣 の 捕 獲 等 許 可 申 請 者 名 簿

名称	住 所	氏 名	職 業	生年月日	保険等	狩猟免許を受けている場合				銃器を使用する場合			※2 許可番号
						狩 猟 免 許				※1 銃所持 許可証番号	交付年月日	銃砲の種類	
						免許の種類	免許した知事名	免許の番号	交付年月日				
班長													

※1 捕獲活動で使用する銃全ての番号を記載すること。

※2 欄は申請者においては記入しない。

令和 年 月 日

捕獲班

有害鳥獸捕獲活動報告書

記

1. 捕獲許可証番号 第 号 ～ 第 号
2. 捕獲活動区域 (鳥獣保護区)
(休 猟 区)
3. 活動日数 計 日間
4. 活動人数 のべ 人 (別紙 出勤者名簿のとおり)
5. 許可頭 (羽) 数
6. 捕獲鳥獣名及び捕獲頭 (羽) 数
(シカの場合、オス・メスを分けること)
捕獲頭 (羽) 数が 0 又は許可数に至らなかったときの主な理由
について :
7. 捕獲確認者記入欄

捕 獲 鳥 獣 名			
捕 獲 頭 （ 羽 ） 数			
確認者	尼 崎 市	課	
	農林（水産）振興事務所	課	

- (注) 1. イノシシの場合は、写真を持参させ現認すること。
2. シカの場合は、写真又は前歯 2 本及び調査書を提出させる。

(様式第 8 号 別紙)

捕獲活動出動者名簿

[illegible]

(注) 班員別に出動日に○印を、計欄に延人数を記入すること。